

～レプトスピラ症患者の発生について～

- 県内で今年初めてのレプトスピラ症の患者が確認されました。（全国では今年46件（11月15日現在）報告されています。）  
これまでの県内の発生は、平成18年から累計で2件です。
- 病原性レプトスピラを保菌している動物（ネズミ等）の糞や尿に汚染された水や土壌から感染します。
- 水関連のレクリエーションをする場合は、水中でけがをしないように、防護のための装備を着用しましょう。また、洪水の後の川なども入らないようにしましょう。

<患者の概要>

- （1）患者：男性（60歳代）、阿蘇保健所管内在住
- （2）職業：無職
- （3）症状：発熱、筋肉痛等
- （4）経過：
  - 9月11日～16日：発熱、筋肉痛等出現。
  - 9月16日：症状悪化のため救急搬送となり、A医療機関へ入院となる。
  - 9月19日：B医療機関へ転院。
  - 11月15日：B医療機関での検査の結果、レプトスピラ症と診断。

## 参考

### ■ レプトスピラ症とは

病原性レプトスピラ感染に起因する人獣共通の細菌感染症です。世界中で発生が見られますが、特に熱帯地方で見られます。

感染経路：レプトスピラ症にかかっている動物の糞や尿で汚染された土壌や水が、体の傷や粘膜に接触することで感染します。人から人へうつることはまれです。

潜伏期間：2日～3週間

症状：頭痛、発熱、悪寒、筋肉痛、吐き気、下痢や腹痛などが現れます。感冒様症状で軽快する軽症型、黄疸、出血、腎障害を伴う重症型（ウイル病）等があります。

治療：抗生物質による治療が行われます。

### ■ 感染を防ぐためには

○水に関連するレクリエーションをする場合に感染しないように心がけること。

- ・水の中でけがをしないように防護のための装備をする。
- ・皮膚にケガがある場合は、水の中に入らないようにする。

○汚染されている可能性がある場所で水を飲まないこと。

○休養、栄養、睡眠を十分にとり過労を避け、体力の保持に努めること。

○予防できるワクチンは、現在ありません。

(お問い合わせ先)

健康危機管理課 感染症対策班

担当 嶋田、西島

電話 096-333-2240 (直通) (内線 33154)